号 第 40 平成24年(2012) 1月7日発行

東久留米市教育委員会 **〒**203-8555東久留米市本町3-3-話 042 (470) 7777

第 40 平成23年度 全国中学校 体育大会 

> 会が中止になって残念と思 なりました。選手たちは大

昨年の8月18日~20日の3日間、京都市で開催された「第40回全国 中学校ハンドボール大会」で、市立西中学校ハンドボール部女子 今号では顧問の先生やコーチ、選手た が見事に優勝しました。 ちによる4年ぶり、4回目の全国優勝という輝かしい軌跡を 改めてその栄誉を称えたいと思います。

西中学校ハンドボール部

り、春の全国大会が中止に 国に知れ渡っています。 ます。今やその実力は、全 晉の全国大会も制し、 春夏 女子は現在の尾石顧問 子塔を打ち立て、その時は **校教諭)の下、4年前に史** 埋覇の快挙を成し遂げてい 昨年は震災の影響によ 初の全国大会3連覇の金

う一方、東北地方の 20チームが出場し、 しかし、今大会の女 ました。 手たちみんなで喜び することを聞き、 東北地方からも出場 子の部には全国から チームのことを心配 していたそうです 今大会では被災地

りました。 れ、会場は一体にな 熱い思いが述べら を元気づけられるよ の一日も早い復興を う頑張ろう」という 願い、開会式にも して被災された方々 ハンドボールを通 また、準決勝から応援に

安心して試合を観ることが できた。チーム全体の技術 ントロールし、相手を寄せ 終始、西中学校が試合をコ 点差まで詰め寄られたが、 駆けつけた馬場市長は、「1 つけない強さが感じられ、

西中学校ハンドボ

ル部女子の試合

スポーツ祭東京2013「ゆりーと」

勝利しました。

は、大会初日の午後から始

の三松中学校に、32対17で まりました。初戦は宮崎県

うです。 戦の末、28対26で勝利しま と握手を交わされ、「西中 監督は、試合後に尾石顧問 の後輩に当たる同校の大道 ています」と激励されたそ 学校が優勝することを願っ した。尾石顧問の大学時代 戦。延長にもつれ込む大接 県の氷見十三中学校との対 二日目は準々決勝、

く思っている」と話されま ち会えたことを大変うれ する姿に技術や体力を超え い試合が続いた。そんな息 準々決勝、決勝と大変厳し の両顧問と生徒、そして部 要因は尾石、灘(同校教諭) 手に21対20で勝利。 惑いましたが、26対18で勝 との準決勝。素早い動きを かった沖縄県の仲西中学校 長として、歓喜の瞬間に立 たところの力を感じた。 勝利を信じ、全力でプレイ 詰まる展開の中にあって、 員相互の固い『絆』である。 国制覇を成し遂げた最大の 行かれた清水校長は、「全 覇を果たしました。応援に る熊本県の松橋中学校を相 いよ決勝戦。優勝候補であ 利しました。そして、いよ 得意とする戦法に初めは言 行われました。前評判が高 全国

感謝の気持ちが

4年ぶり4回目の優勝 優勝までの経過報告、 れ、選手、校長や顧問等の が冷めぬ中、8月29日に市 先生方が出席されました。 役所で優勝報告会が行わ

教育長も応援に駆けつ

笑顔をパチリ。準決勝 の記念撮影。まぶしい

▲優勝を決めた直後

から、馬場市長と永田

三日目は準決勝と決勝が 神を再確認してゴー!

きた。日々の厳しい練習と の応援をすることができ 力や精神力が光る素晴らし を確信し、安心して応援で と、それぞれ話されました。 試合を通しての自信は素晴 が、選手たちは自信を持っ た。決勝は終始僅差だった 服して臨んだ準決勝、決勝 長は「準々決勝で劣勢を克 い試合だった。感動をくれ らしいものだと感動した」 て試合をしていたので優勝 てありがとう」、永田教育 られました。このバランス の良さが、彼女たちの強さ に発揮できたと思う」と語 につながっているのではな いる。今回の大会では十分 いでしょうか。

告会で次のように伝えまし は試合を振り返り、優勝報 大会関係者の皆さんに感謝 都・市の関係者のおかげで 盛り上げてくれた京都府の あり、また、最高の大会に ができたのは保護者や東京 したい」と話されました。 そして、「出場すること 主将の大畠さん(3年生)

戦っていこう。試合を楽し 張した。2戦目はなかなか もう』をモットーに臨んだ。 学1・2年生だった部員た 年の宮崎県の大会、 今年は『一戦一戦を大事に 輩たちをずっと見てきた。 ちは、悔しい思いをした先 ことが大変うれしい。一昨 ベスト8で敗退。当時、中 広島県の大会ではいずれも しかし、1戦目はとても緊 先ずは今回優勝できた 昨年の

全国優勝した興奮の余韻

包まれ、両校の応援で騒然としてい 力が入る。チームのモットーであ る。控えの選手の団扇を仰ぐ手にも る、、気合い、間合い、高め合い、精 ▼決勝戦の休憩中。会場は熱気に

乗り越えたべ

スト8の壁!

で指導してくれた顧問や多

に感謝している。休日返上

くの方のおかげで優勝する

ツにも全力投球して はふだんから文武両 り、勉強にもスポー 道の精神を備えてお してきた。選手たち スケールの大きいチ ックさを兼ね備えた 人ピードとダイナミ て、「灘顧問と共に、 尾石顧問は現在の ムを目指して練習

ムの特徴につ

れたが、『ここで負けたく

ができた。最高の夏を過ご

たくさんのことを学ぶこと れる周囲への感謝を通じて

せたことに感謝している」。

の中に、「来年もこの場に

優勝報告会の選手の挨拶

いられるように頑張りた

という言葉がありまし

後、市長、富田市議会 れ、続いて、花束贈 祝いの言葉が述べら 副議長、教育長、寺本 全員の自己紹介等の 呈が行われました。 体育協会会長からお ハインドの点差を付けら ュートが決まらず、5点

大畠虹帆さん

ということを学んだ。被災

た」。「私たちは今年、感謝、 ことができ、恩返しができ

たちはハンドボールができ

ることへの感謝、支えてく

された方がいる中でも自分

ることができた」。 る最後の試合を楽しもう』 が、『このメンバーででき 後半に追いつくことができ そして、顧問やコーチ、 一般は1点差の接戦だった 「でも多く試合をしよう」 た。続く準決勝では『一試 1。そして延長戦の末、ベ いう気持ちで臨んだ。決 ト8の壁を乗り越えられ い!」という強い思いで、 楽な気持ちで試合をす

> 向かっているようでした。 とで、早くも気持ちは次に 挙も選手にはもう過去のこ た。全国大会優勝という快

る環境を整えたくれたこと 3年間、みっちり練習でき 先輩のほか支えてくれた多 、の方々に対して、「この

市内には勉強やスポーツ

のご声援をお願いします。 練習に精を出し、努力して いる児童・生徒がたくさん います。これからも皆さん 文化活動などで日ごろから 場

## 今までありがとう… C. L. P. C. Tumal, Physics 1971 第四小学校が 閉校します

ます。 学校が閉校します。 部地域の滝山小学校、 東部地域の市立第四小 に続き、 中部地域の第八小学校 ください。 平成24年3月末で、 詳しくは2面をご覧 市立学校の閉校は西 3校目となり

全国大会出場 都立東久留米総合高校 「第90回全国高校サッ 米高核 に2回出・昨年に続き 次会に 今回で2回目となります。